

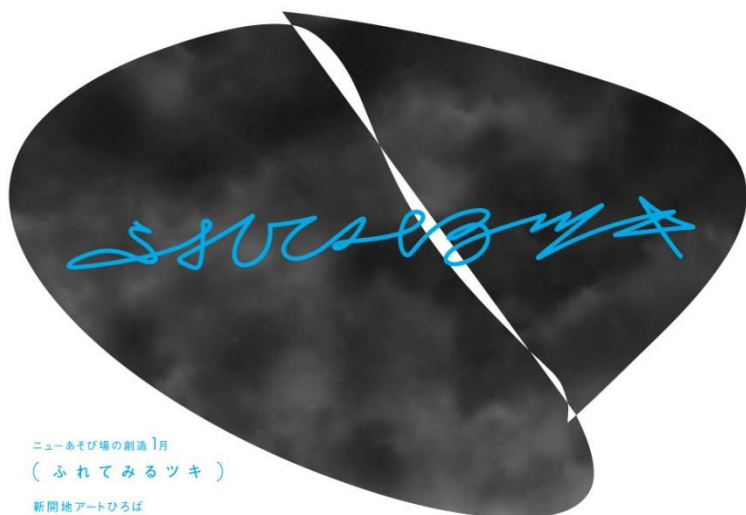
2023年12月8日（金）

PRESS RELEASE プレスリリース

新開地アートひろば 自主事業企画「ニューあそび場の創造」2024年1月

「ふれてみるツキ」

「感覚」や「視点」の多様性にふれてみる「ひろば」に



新開地アートひろば（神戸市兵庫区、指定管理者：公益財団法人神戸市民文化振興財団、館長・大谷燠）では、2024年1月8日（月・祝）～1月31日（水）まで、イベント「ふれてみるツキ」を開催します。

このイベントは、異なる文化の人やコミュニティをつなぐアートプロジェクトを多く手掛け、東京2020パラリンピック開会式のステージアドバイザーもつとめたアートプロデューサーの栗栖良依を企画・監修に迎え、当施設スタッフとの対話を通じて、企画立案・運営を行っています。

会期中は、新開地アートひろばの施設内にて、主に触覚・聴覚を通じて鑑賞するアート作品の制作と展示、神戸を拠点に活動する就労継続支援B型の事業所などが参加するマルシェを開催します。誰もが、気軽に、楽しく、参加・体験することを通じて、多様性に「ふれてみる」催しです。

また、栗栖による、オンラインでのアクセシビリティ講座、東京2020パラリンピック開会式の演出を手掛けたウォーリー木下とのトークコンテンツのYouTube公開を通じて、本企画趣旨の根幹にふれるとともに、多様性や多文化共生について理解を深めるコンテンツの発信にも取り組みます。

“視覚に頼らない”アート作品を通じて、誰かの日常にふれてみる

本イベントの柱は、“視覚に頼らない”アート作品の制作と展示です。「ツキにいるウサギ」をモチーフにした、音や声を重ねた体験型作品、様々な素材の手触りを楽しめる作品が、新開地アートひろばの1F・コミュニティスペースに出現します。

作品制作には、アニメーション作家の信耕ミミ、音楽家の蓮沼執太、音や光を捉えて踊る武内美津子、高校生ドラマターの酒井響希が参加。更にワークショップを通じて、一般の方も作品制作に携わることができます。作品制作と鑑賞を通じて、参加者・鑑賞者それぞれの価値観や感覚、視点の共有を通じて、誰かの日常に「ふれてみる」イベントです。

あなたの感じるものが、誰かにとっての発見になるかもしれません。

1月は新開地アートひろばで、普段は出会わない考えや体験に「ふれてみるツキ」にしませんか？
みなさんのご参加をお待ちしています。

主催・お問合わせ 新開地アートひろば [指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団]

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL：078-512-5500 FAX：078-512-5356（担当：中川・岡村・野澤）

2023年12月8日（金）

PRESS RELEASE プレスリリース

〈開催概要〉

ニューあそび場の創造 2024年1月「ふれてみるツキ」

開催期間：2024年1月8日（月・祝）～1月31日（水）

参加アーティスト：栗栖良依、信耕ミミ、蓮沼執太、武内美津子、酒井響希、ウォーリー木下

会場：新開地アートひろば ※一部、オンラインで開催

デザイン：SAFARI inc.

主催：新開地アートひろば（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団）

協力：特定非営利活動法人神戸ライトハウス、Artist in Residence KOBE (AiRK)

助成：一般社団法人 地域創造

〈イベント詳細〉

■ YouTubeにて公開！トークコンテンツ

「ふれてみるツキの茶話会」 ※コンテンツ公開日：2024年1月上旬予定

スピーカー：栗栖良依、ウォーリー木下

東京2020パラリンピック開会式で協働したウォーリー木下と、栗栖良依による初の公開クロストーク。多様な人が活躍した開会式の舞台裏やアートとエンターテインメントの未来についてお話しします。トークは、「ふれてみるツキ」開催期間中、YouTubeにて公開します。12月下旬の収録までに、スピーカー2人への質問を募集し、質疑応答を行います。



■ アクセシビリティ講座

左から：ウォーリー木下、栗栖良依

「ふれてみるツキにふれてみる」

日時：2024年1月8日（月・祝） 13:30～15:00

進行役：栗栖良依

会場：オンライン会議ツール（Zoom）

参加費：無料

企画・監修の栗栖良依より、「ふれてみるツキ」を企画するに至った背景や狙いについてお話しします。異なる文化や背景のある人が安心安全に共創できる創作環境の作りかたと、違いを活かしあうことで生まれる新たな表現の可能性について、一緒にお話ししましょう。

主催・お問合わせ 新開地アートひろば [指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団]

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL：078-512-5500 FAX：078-512-5356（担当：中川・岡村・野澤）

2023年12月8日（金）

PRESS RELEASE プレスリリース

■ ワークショップ／展示

「ふれてみるツキのウサギ」

遠くから見ると青い惑星・地球も近くで見ると様々な生き物の日常があるように、誰も見たことの無いツキに近づいてみたら、いろんな日常が繰り広げられているかも…？大きなウサギの体内で、そんなツキのお話にふれられる音の体験型作品を、まちの人たちとつくります。完成した作品は、新開地アートひろば 1F のコミュニティスペースで展示。1F・てててパークに遊びに来る親子を中心に、広く一般の方にお楽しみいただけます。



左から：信耕ミミ、蓮沼執太、武内美津子、酒井響希

その1 「ものがたり」にふれてみるワークショップ

日時：2024年1月13日（土） 10:00～17:00

参加アーティスト：信耕ミミ、蓮沼執太、武内美津子、酒井響希

会場：新開地アートひろば B1・ギャラリー

参加費：無料（要予約／中学生以上の方対象）

身近なモノから空想して3つのウサギのお話をつくり、そこに身近なもので音や声を重ねて、みんなの視点や感性のちがいにふれながら作品をつくります。

その2 「ものづくり」にふれてみるワークショップ

日時：2024年1月14日（日）～1月21日（日）10:00～17:00（※1月16日（火）は休館）

会場：新開地アートひろば 1F・1room

アーティスト：信耕ミミ＋ひろばに遊びに来るみなさん

参加費：無料（予約不要／どなたでもご参加いただけます）

信耕ミミと一緒に色々な素材の手触りとお喋りを楽しみながら、大きなウサギをつくりあげるワークショップ。参加予約不要で、開催期間中、いつでも、誰でもご参加いただけます！どんどん出来上がっていく過程もお楽しみください。※ワークショップで使用する布を集めるため、12月上旬より古着回収BOXを館内に設置し、来館者から不要な衣類を集めます。

主催・お問い合わせ 新開地アートひろば [指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団]

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL：078-512-5500 FAX：078-512-5356（担当：中川・岡村・野澤）

2023年12月8日（金）

PRESS RELEASE プレスリリース



▶ 「ふれてみるツキのウサギ」 成果作品展示

日時：2024年1月22日（月）～1月31日（水）10:00～22:00（火曜休館）

会場：新開地アートひろば 1F・1room

入場無料（施設の開館時間中、自由にご覧いただけます。）

2つのワークショップを経て完成した作品は、会期中展示します。「ツキにいるウサギ」をモチーフにした、音や声を聴いたり、様々な素材を触ることで鑑賞する作品を、お楽しみください。

■ 体験型マルシェ

「ふれてみるイチバ」

ふれてみるツキからワープして、新開地アートひろばにやってきたイチバ。

店主やお客さんと五感や六感を使ってお喋りしてみてください。きっと新たな自分に出会えるでしょう。

日時：2024年1月27日（土）11:00～16:00

会場：新開地アートひろば 1F・1room

入場無料

出展者：

気分転館（神戸ライトハウス）〈内容：マッサージ〉

Jun＊Kaona 〈内容：星読み（占い）〉

aroma LUCA・BELL VIE 〈内容：コスメづくり〉

神戸ふれあい工房 〈内容：オリジナルお菓子・雑貨等の販売〉

※1000円以上お買い上げの方に、オリジナルトートバッグプレゼント！（先着50名）

主催・お問合わせ 新開地アートひろば [指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団]

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL：078-512-5500 FAX：078-512-5356（担当：中川・岡村・野澤）

〈参加アーティスト〉

栗栖良依（くりすよしえ） | 「ふれてみるツキ」企画・監修

東京造形大学でアートマネジメントを学んだのち、イタリアのドムスカアカデミーでビジネスデザイン修士取得。「日常における非日常」をテーマに、異なる文化の人やコミュニティをつなげ、対話や協働のプロセスで社会変革を試みるプロジェクト型の作品をつくる。2010年、骨肉腫により右下肢機能を全廃し、障害福祉の世界に出会う。翌年、アートで多様性と調和のある世界の実現をめざす「SLOW LABEL（現・認定NPO法人スローレーベル）」設立。東京2020パラリンピック開閉会式では、ステージアドバイザーとして企画・演出振付・キャスティング・リハーサル運営・コメンタリーガイドまでを総合的に監修。第65回横浜文化賞「文化・芸術奨励賞」、TBS「ひるおび」木曜コメンテーター。

信耕ミミ（しんこうみみ）

武蔵野美術大学空間演出デザイン学科ファッションデザインコース卒。

何となく映像編集会社で働き始めたが、そこで映像制作に興味を持ち、仕事の合間に独学でコマ撮りアニメを制作し始めた。現在は主に紙粘土を使ってコマ撮りアニメを作っている。主な上映歴・受賞歴：ベルリン、ジョージアなどの映画祭にて作品上映。ASK?映像祭2012入選（久里洋二セレクション新人賞）。アニメーションのワークショップとしては、道後商店街のお店の方々と制作した『ゆだまん』/道後オンセナート2014、タイ・ラオス・ミャンマー・カンボジアの知的障害や発達障害のある方々と一緒に滞在制作した『POVO』ほか。その他、現在は障害のある方のヘルパーもしていて、日々の気づきからの発想で、自分が乗りたくなるような面白い車椅子の制作もしている。2019年に『車椅子さんのファッションショー』を企画開催。

蓮沼執太（はすぬましゅうた）

1983年、東京都生まれ。蓮沼執太フィルを組織して、国内外での音楽公演をはじめ、映画、演劇、ダンスなど、多数の音楽制作を行う。また「作曲」という手法を応用し物質的な表現を用いて、彫刻、映像、インスタレーション、パフォーマンス、ワークショップ、プロジェクトなどを制作する。2013年にアジアン・カルチュラル・カウンシル（ACC）のグランティ、2017年に文化庁・東アジア文化交流史に任命されるなど、国外での活動も多い。

主な個展に「Compositions」（Pioneer Works、ニューヨーク/2018）、「～ing」（資生堂ギャラリー、東京/2018）などがある。第69回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。東京2020パラリンピック開会式にてパラリンピック讃歌編曲及び障害の有無を超えたミュージシャンで構成されたパラ楽団指揮。

武内美津子（たけのうちみつこ）

2004年、51歳の時、病に倒れ視力を失い、以後、病と視覚障害と下肢の麻痺とともに生きている。

2014年より舞台表現を始め、一人芝居で金賞やグランプリなど受賞多数。国内外の公演に出演。

2021年東京2020パラリンピック開会式では「盲目の飛行機」役を演じる。

また、日本語と英語で文芸活動を行い、NHKハート展に入選など受賞多数。

絵や書も書き、2022年には、ゲーテ・インスティトゥートのご支援を得て、KYOTO EXPERIMENTで創作の姿を披露するなど、多岐にわたる活動を行っている。

主催・お問合わせ 新開地アートひろば [指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団]

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL：078-512-5500 FAX：078-512-5356（担当：中川・岡村・野澤）

酒井響希（さかいひびき）

2006年生まれ。大阪の視覚支援学校に通う高校2年生。

両眼性網膜芽細胞腫(小児がん)により2歳で両眼を摘出し全盲となる。全盲となってから音に強い興味を持ち4歳からドラムを習い始め、小学生の頃よりテレビ・ラジオ等メディアへの出演、イベント出演等で活躍の場を広げている。2020 東京オリンピックでは国旗ベアラー、パラリンピック閉会式ではドラマーとして出演を果たす。将来の夢は、「世界中の人に勇気と希望を届けられるドラマーになること」を目標に日々勉強にドラムにと取り組んでいる。

ウォーリー木下（うおーりーきのした） | 新開地アートひろば事業アドバイザー

戯曲家・演出家。93年、神戸大学在学中に劇団☆世界一団(現 sunday)を結成。特に役者の身体性を重視した演出が特徴。ストリートシアターフェス ストレンジシード静岡など様々な演劇祭でフェスティバルディレクターを務めている。近年の代表作に東京 2020 パラリンピック開会式(演出)、ハイパープロジェクト演劇「ハイキュー!!」シリーズ(演出・脚本)などがある。メディアアートとパフォーマンスの融合で注目を集め、従来の“演劇”という概念を超えた新しい挑戦をし続けている。

〈新開地アートひろばについて〉

新開地アートひろばは、1996年4月に開館した、神戸アートビレッジセンター（KAVC）が前身となり、2023年4月にリニューアルオープンいたしました。「発表施設」「練習・制作施設」「無料開放スペース」の3つからなる文化施設で、子どもから大人まで、あらゆる世代が交流する、開かれた「ひろば」となり、地域の文化活動拠点になることを目指して運営しています。

〈自主事業企画「ニューあそび場の創造」について〉

月替りで、アーティストがやってくる。多彩な『あそび場』で、一緒にあそぼ！

新開地アートひろばの施設全体を『あそび場』として捉え、毎月多彩なジャンルのアーティストと協働して、「あそべる作品」や「あそべる空間」を創造するシリーズ企画です。

様々な形の「あそび」をアーティストと共に創造し、「あそび」を通じて文化芸術に触れることが出来る催しを展開しています。複合文化施設の特徴を活かし、1F 無料開放スペースのほか、ホールやギャラリー、スタジオ、リハーサル室など、様々な場所を使って開催します。

アーティストの個性を活かした、多彩な『あそび場』に、ぜひご注目ください！

主催・お問い合わせ 新開地アートひろば [指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団]

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL：078-512-5500 FAX：078-512-5356（担当：中川・岡村・野澤）